

ちび

千葉県農林水産業の動向

— 令和8年度版 —



令和8年6月

千葉県マスコットキャラクター
チーパくん

千 葉 県

はじめに

本県は、温暖な気候と首都圏に位置するという立地条件に恵まれ、農林漁業者の技術も高く、全国屈指の農林水産業県です。

近年は、担い手の減少や生産コストの上昇、地球温暖化の進行への対応などの課題がある一方で、成田空港第2の開港プロジェクトや広域道路ネットワークの整備進展等により、立地優位性をはじめとした本県のポテンシャルが更に高まることが期待されています。

県では、「千葉県農林水産業振興計画（令和8年度～11年度）」を令和8年6月に策定しました。本計画では、「稼げる農林水産業の実現と農山漁村の活性化」を基本目標に掲げ、本県農林水産業における10年後の目指す姿を示すとともに、その実現に向けた具体的な取組を定めています。

本書は、令和8年度における千葉県農林水産業の動向をとりまとめたものです。

稼げる農林水産業の実現に向け、次世代を担う人材の確保・育成、農林水産業の成長力の強化、需要を捉えた販売力の強化と輸出促進を図るとともに、地域の特色を生かした農山漁村の活性化、災害等への危機管理の強化といった各種施策を、生産者や関係団体の皆様と一体となって推進してまいります。

生産者や関係機関、関係団体の皆様におかれましては、本県農林水産業の振興のため、本書を御活用いただければ幸いです。

令和8年6月

千葉県農林水産部長 高橋 輝子

目 次

はじめに

I 千葉県農林水産業の概要

1 千葉県のすがた	1
2 産業別就業人口	1
3 産業別県内総生産	2
4 土地利用	2
5 農業生産	3
6 森林・林業	4
7 漁業生産	4
8 農家・漁家率	5
9 食料自給率	5

II 農業の動向

1 農業産出額からみた本県農業	7
2 農業構造の動向	
(1) 農家	9
(2) 農業従事者	10
(3) 農業経営体・販売農家数の現状	11
(4) 農地所有適格法人等の現状	13
(5) 集落営農組織の現状	14
(6) 認定農業者	15
(7) 農業の新たな担い手	17
(8) 就農準備資金・経営開始資金	17
(9) 耕地	19
(10) 農用地の流動化と利用集積	21
(11) 都市農業	22
(12) 荒廃農地	23
(13) 多面的機能支払・中山間地域等直接支払・環境保全型農業直接支払	24
(14) 野生鳥獣による被害状況	24
(15) 生産基盤の整備	26
(16) 農業協同組合	30
3 主要農産物の生産動向	
(1) 米	32
(2) 麦	34
(3) 大豆	35
(4) 落花生	36
(5) いも類	37
(6) 野菜	38
(7) 果樹	43
(8) 花き・植木	44

(9) 環境にやさしい農業	46
(10) 飼料作物	49
(11) 畜産	51
4 主要農業構造指標の地域別特化	57

III 森林・林業の動向

1 森林資源	58
2 林業構造	59
3 森林整備	60
4 林産物	62
5 路網整備	66
6 森林病虫害	66
7 森林の公益的機能と県土の保全	66
8 県民の森	67
9 県営林・公益保全林	68
10 法人の森	68
11 里山活動団体	68
12 企業や団体等による森林整備	68

IV 水産業の動向

1 漁業生産の動向	
(1) 海面漁業・養殖業生産量	69
(2) 海面漁業・養殖業産出額	70
(3) 魚介藻類生産量の全国順位	70
(4) 内水面漁業の生産量	71
(5) 内水面養殖業の生産量	73
(6) 主な魚種別生産量	74
(7) 水産加工業	75
(8) つくり育てる漁業	76
2 水産業構造の動向	
(1) 漁業経営体数	78
(2) 業種別漁労体数	79
(3) 漁業就業者数	79
(4) 漁業の担い手の確保	80
(5) 漁業従事世帯員数	81
(6) 漁船数	82
(7) 水産業協同組合	84
(8) 沿海地区漁協等	86
(9) 漁港整備	87

V 横断的・戦略的な項目の動向

1 県産農林水産物・食品の輸出	88
-----------------	----

2	6次産業化	90
3	農林水産物直売所	91
4	新たな技術の開発	92

VI	東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の影響と対応	94
----	----------------------------	----

トピックス

・	新たな「千葉県農林水産業振興計画」の策定について	6
・	農福連携の取組の更なる拡大に向けて	18
・	「おおしの緑地会(佐倉市)」が豊かなむらづくり全国表彰事業において農林水産大臣賞を受賞	22
・	特定外来水生植物の駆除事業について	29
・	「2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)」へ出展します。	45
・	有機農業の推進に向けた農業者向け研修会の開催	48
・	第16回全日本ホルスタイン共進会への出品	56
・	市町村が連携して森林整備に取り組んでいます	61
・	漁業関係団体と民間企業等が連携したブルーカーボンに関する取組が広がっています	77
・	富津漁港の新たな整備計画策定	77
・	第46回全国豊かな海づくり大会～ふさの国 千波 ^{ちば} 大会～	83
・	千葉県海洋人材確保・育成センターの設置	83
・	台湾の輸入規制措置の撤廃(令和7年11月)	89

[参考]

1	市町村別主要農業構造指標	104
2	千葉県農業の主要指標	108
3	千葉県農業の主要指標の推移	109
4	千葉県森林・林業の主要指標	110
5	千葉県水産業の主要指標	111
6	農林水産業災害の状況	112
7	生産資材(A重油・家畜飼料・肥料)の購入価格の推移(全国)	116
8	主要農畜産物の生産費の推移(水稲・生乳)	117
9	我が国の食料需給動向	119
10	千葉県農産物の全国ランキング(令和6年)	120
11	千葉県水産物の全国ランキング(令和6年)	124
12	農林水産部予算課別総括表(一般会計)	126
13	農業産出額上位道県における、当初予算額と農業産出額の推移	127
14	ちばの旬(青果物)	128
15	ちばの旬(花き)	130
16	ちばの旬(水産物)	132
17	千葉県で行われている漁業	133
18	千葉県農林水産部組織体系図	134
19	統計関係用語集	135
20	令和7年度の千葉県農林水産業の主なできごと	137

I 千葉県農林水産業の概要

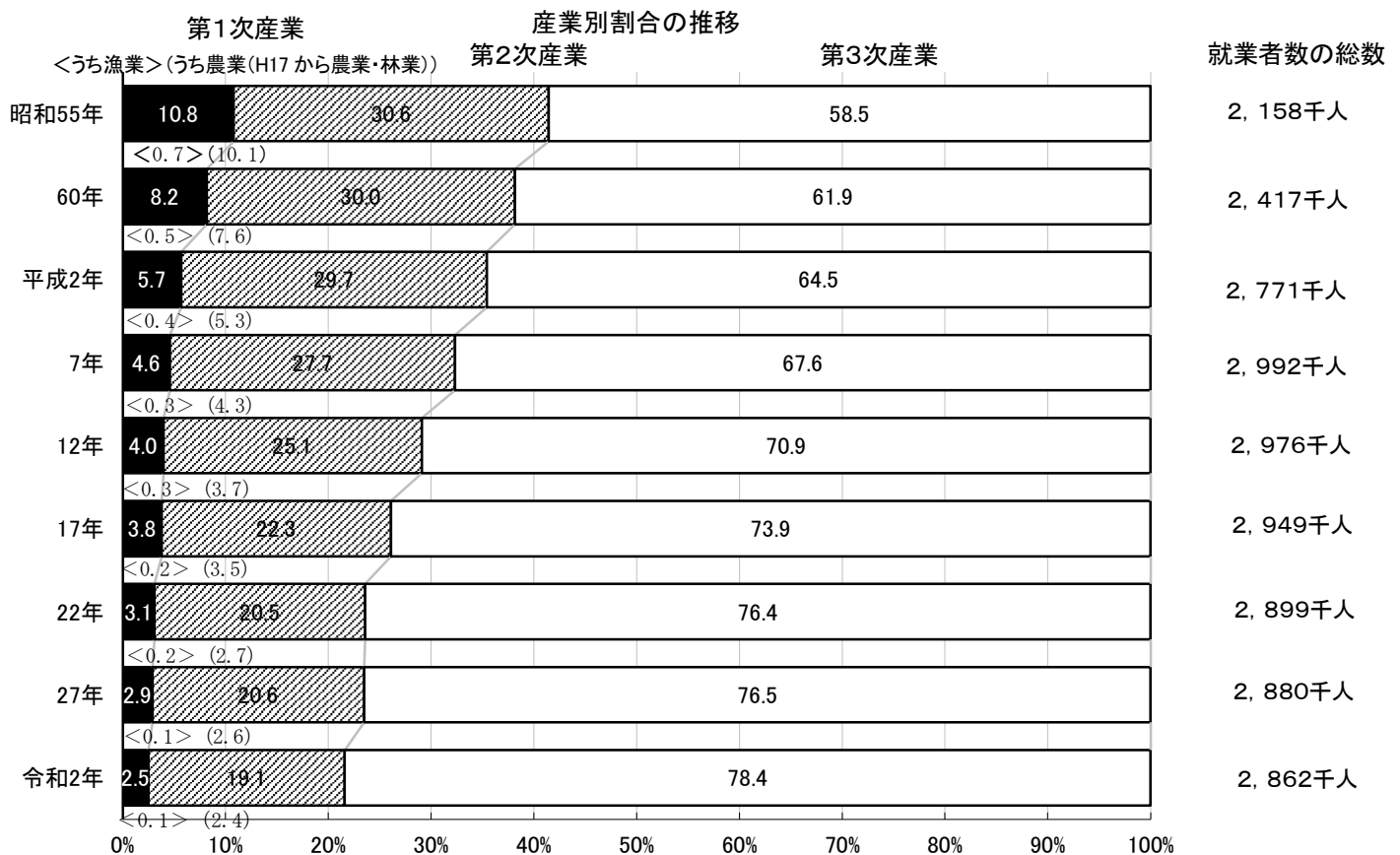
1 千葉県のすがた

- (1) 千葉県は、首都圏の東側に位置し、南東は太平洋、西は東京湾に面し、太平洋に突き出た半島になっている。また、北西は東京都と埼玉県、北は茨城県に接している。
- (2) 面積は、5,156.48 平方キロメートル、全国第 28 位であり、東京都と神奈川県を合わせたよりも広い。(令和 7 年 10 月 1 日現在)
 地勢は、南部の 200~300m 級の山々が続く房総丘陵、東京湾岸の低地、北部の比較的平坦な下総台地、利根川流域と九十九里沿岸に広がる平野となっている。(県内最高峰：愛宕山 408m)
 海岸線の長さは、531km(令和 6 年 3 月 31 日現在)に及び、変化に富んだ景観を見せている。
- (3) 三方を海に囲まれた千葉県は、冬暖かく夏涼しい海洋性の温暖な気候である。特に南房総沿岸は、沖合を流れる暖流(黒潮)の影響を受け、冬でもほとんど霜が降りない。降水量は、夏季に多く、冬季は少ない気候となっている。

2 産業別就業人口(平成 27 年比 総就業者数 18 千人減、うち 1 次産業 1.1 千人減)

- (1) 県内総就業者数(令和 2 年)は 2,862 千人で、産業別には、第一次産業が 69 千人(産業別割合※2.5%)、第二次産業が 527 千人(同 19.1%)、第三次産業が 2,167 千人(同 78.4%)、分類不能の産業が 99 千人となっている。農業、林業は 66 千人(同 2.4%)、漁業は 3 千人(同 0.1%)となっている。
- (2) 平成 27 年と比較すると、総数で 18 千人、第一次産業で 10.7 千人、第二次産業で 32.7 千人減少し、第三次産業で 84.2 千人増加している。産業別の構成比はほぼ横ばいである。

※割合は、分母から「分類不能の産業」を除いて算出している。(資料：国勢調査)



3 産業別県内総生産（県内総生産は名目で2.7%増、農林水産業14.6%増）

- (1) 令和5年度の千葉県経済の規模（県内総生産）は名目で22兆1,749億円、実質で21兆9,651億円となり、経済成長率は名目で2.7%増、実質1.1%減となった。
- (2) 農林水産業の名目総生産額は1,879億円で、前年度に比べ14.6%増、県内総生産に占める構成比は0.8%となった。

経済活動別県内総生産（生産側・名目）

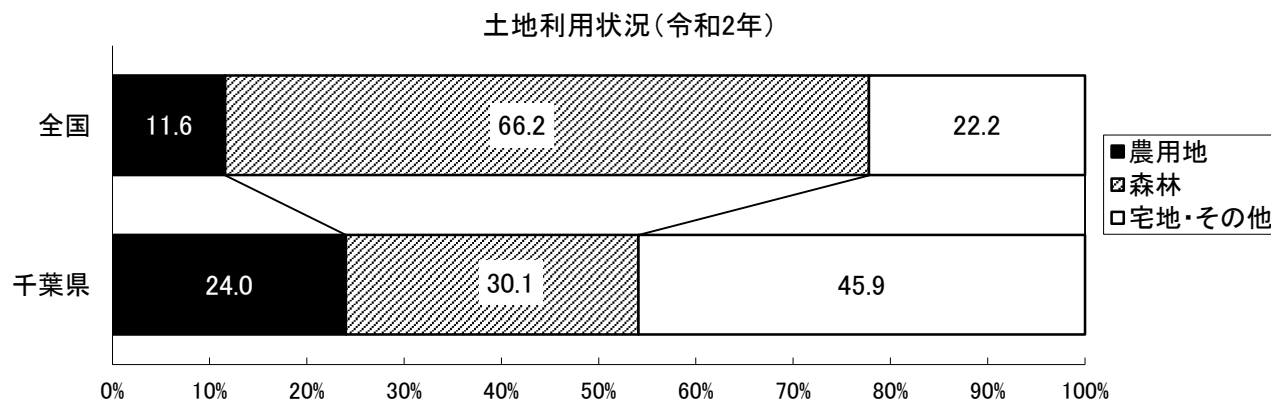
（単位：億円、%）

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
農林水産業	1,926	0.9	1,890	0.9	1,720	0.7	1,833	0.9	1,879	0.8
うち農業	1,789	0.8	1,764	0.9	1,604	0.7	1,703	0.8	1,737	0.8
うち林業	18	0.0	19	0.0	20	0.0	21	0.0	22	0.0
うち水産業	118	0.1	107	0.1	95	0.0	110	0.1	119	0.1
第2次産業	49,938	23.5	52,762	25.9	51,167	24.9	51,017	23.8	49,579	22.4
第3次産業	159,885	75.2	151,417	72.9	153,353	73.4	159,253	74.4	168,415	76.0
小計	211,749	99.6	206,070	99.6	206,240	99.0	212,104	99.0	219,872	99.2
輸入税	3,690	1.7	3,655	1.8	4,266	2.1	5,635	2.6	5,213	2.4
その他（控除）	2,771	1.3	2,876	1.4	2,843	1.1	3,596	1.7	3,336	1.5
県内総生産	212,668	100	206,848	100	207,662	100	214,143	100	221,749	100

（資料：令和5年度千葉県県民経済計算）

4 土地利用（全国に比べ農用地割合は2倍）

- (1) 千葉県の総面積は51.6万haであり、主な土地利用状況（令和2年）をみると、農用地が12.4万ha（24.0%、前年比1,037ha減）、森林が15.5万ha（30.1%、前年比400ha減）、宅地・その他が23.7万ha（45.9%、前年比1,434ha増）となっている。
- (2) 全国平均と比べると農用地、宅地・その他の割合が約2倍と高くなっており、森林の割合は全国平均の半分以下である。



千葉県の土地利用（令和2年）

（単位：万ha・%）

項目	総面積	農用地	森林	宅地・その他	備考
全 国 （構成比）	3,780 (100.0)	437 (11.6)	2,503 (66.2)	840 (22.2)	資料： 全 国：「令和6年度土地に関する動向」 （国土交通省調べ） 千葉県：土地利用現況把握調査 （政策企画課調べ）
千 葉 県 （構成比）	51.6 (100.0)	12.4 (24.0)	15.5 (30.1)	23.7 (45.9)	

5 農業生産（産出額は4,533億円で全国第4位、生産農業所得は全国第5位）

- (1) 令和6年の農業産出額は4,533億円（前年比504億円増）で、全国第4位となった。
- (2) 農業産出額の構成は、米が1,005億円（前年比436億円増）、野菜・果実・花きを合わせた園芸が1,744億円（前年比100億円増）、畜産が1,464億円（前年比37億円減）と、園芸を中心とした農業が展開されており、首都圏の重要な食料供給基地の役割を担っている。
- (3) 生産農業所得は1,537億円（前年比275億円増）となり、全国第5位となった。

千葉県農業生産の位置（令和6年）

項目	順位	1	2	3	4	5	全国
農業産出額 (億円)		北海道 14,817	鹿児島県 5,689	茨城県 5,494	千葉県 4,533	青森県 4,119	108,200
生産農業所得 (億円)		北海道 6,242	茨城県 2,002	熊本県 1,744	鹿児島県 1,623	千葉県 1,537	40,932

（資料：令和6年農業産出額及び生産農業所得）

主な部門別の農業産出額（令和6年）

（単位：億円・%）

項目	合計	米	豆類	いも類	野菜	果実	花き	畜産	畜産の主な内訳		
									乳用牛	豚	鶏
千葉県 (構成比)	4,533 (100.0)	1,005 (22.2)	73 (1.6)	212 (4.7)	1,430 (31.5)	114 (2.5)	200 (4.4)	1,464 (32.3)	269 (5.9)	568 (12.5)	483 (10.7)
千葉県の 全国順位	4	8	2	4	4	22	2	5	5	4	5
全国 (構成比)	108,200 (100.0)	25,640 (23.7)	634 (0.6)	2,418 (2.2)	25,510 (23.6)	10,112 (9.3)	3,423 (3.2)	36,932 (34.1)	9,767 (9.0)	7,629 (7.1)	10,655 (9.8)
〈参考〉 R5 千葉県 (構成比)	4,029 (100.0)	569 (14.1)	69 (1.7)	212 (5.3)	1,336 (33.2)	108 (2.7)	200 (5.0)	1,501 (37.3)	254 (6.3)	519 (12.9)	593 (14.7)
〈参考〉 H26 千葉県 (構成比)	4,151 (100.0)	585 (14.1)	83 (2.0)	207 (5.0)	1,611 (38.8)	163 (3.9)	193 (4.6)	1,248 (30.1)	262 (6.3)	478 (11.5)	443 (10.7)

（資料：農業産出額及び生産農業所得）

農業構造（令和7年）

（単位：ha・経営体・%）

項目	耕地	田	畑	農業 経営体	経営体の種類		
					個人 経営体	団体 経営体	法人 経営体
千葉県 (構成比)	119,300 (100.0)	70,800 (59.3)	48,500 (40.7)	26,486 (100.0)	25,414 (96.0)	1,072 (4.0)	1,018
全国順位	10	11	7	9	8	11	6

（資料：令和7年耕地及び作付面積統計・2025年農林業センサス）

6 森林・林業（全国に比べ森林率は約2分の1）

- (1) 千葉県の森林面積は14.5万haで全国第40位、蓄積は26.7百万m³で42位、森林率は28.1%で47位と総体的に低位にある。また、人工林率は33.5%で、全国平均40.3%を下回っている。
- (2) 林家数は1.1万戸で全国第28位であり、林家1戸当たりの保有山林面積は3.3haで全国平均の49%である。
- (3) 令和6年の特用林産物の生産は、生しいたけが1,970.6tで全国第12位(前年8位)、竹材が2.4千束で全国第15位(前年13位)、たけのこは255.3tで13位(前年8位)となっている。-

森林資源と林家数及び林産物生産量

項目	森林資源				林家数 (万戸)	生産量			
	森林面積 (万ha)	人工林率 (%)	蓄積 (百万m ³)	森林率 (%)		素材 生産量 (千m ³)	生しいたけ 生産量 (t)	竹材 生産量 (千束)	たけのこ 生産量 (t)
千葉県	14.5	33.5	26.7	28.1	1.1	119	1,970.6	2.4	255.3
全国順位	40	40	42	47	28	33	12	15	13

- (注) 1 千葉県の森林面積、人工林率、蓄積、森林率はR7.3.31現在の数値(令和6年度千葉県森林・林業統計)
 2 森林面積、人工林率、蓄積、森林率の全国順位はR4.3.31現在の数値(林野庁「森林資源の現況」)
 3 林家数は2020年農林業センサス
 4 素材生産量、特用林産物の生産量及び全国順位(生しいたけ、竹材、たけのこ)は、令和6年次の数値(令和6年木材統計、令和6年特用林産基礎資料)

7 漁業生産（海面漁業漁獲量が全国第9位、海面陸揚金額が全国第7位）

- (1) 令和6年の海面漁業・養殖業生産量(属人)は、83,061トン(前年比0.6%増、463トン増)で全国第15位(前年15位)、産出額は約210億円(前年比16%減、40億円減)で全国21位(前年19位)となった。生産量の内訳は、海面漁業漁獲量が79,828トン(前年比0.8%増、670トン増)で全国第9位(前年9位)、海面養殖業収獲量が3,233トン(前年比6%減、207トン減)で全国第22位(前年22位)である。
- (2) 令和5年の海面陸揚金額(属地)は、485億円(前年比9%増、42億円増)で全国第7位(前年7位)である。
- (3) 令和6年の内水面漁業・養殖業生産量は124トン(前年比8%減、11トン減)で、全国32位(前年33位)である。内訳は、内水面漁業漁獲量が19トン(前年比増減なし)、内水面養殖業収獲量が105トン(前年比9%減、11トン減)である。

漁業生産量(令和6年)・海面陸揚金額(令和5年)

順位	海面漁業・養殖業生産量		海面漁業漁獲量		海面陸揚金額	
	都道府県名	生産量(トン)	都道府県名	漁獲量(トン)	都道府県名	金額(億円)
1位	北海道	897,524	北海道	785,802	北海道	2,010
2位	長崎県	319,707	長崎県	297,100	宮城県	770
3位	茨城県	231,853	茨城県	231,853	長崎県	677
4位	宮城県	227,330	宮城県	164,547	鹿児島県	672
5位	静岡県	160,054	静岡県	157,665	静岡県	573
6位	愛媛県	130,295	島根県	101,007	愛媛県	567
7位	広島県	113,701	鳥取県	89,922	千葉県	485
8位	島根県	101,608	宮崎県	82,299	青森県	388
9位	岩手県	97,696	千葉県	79,828	兵庫県	336
10位	宮崎県	95,999	岩手県	73,500	福岡県	332
15位	千葉県	83,061	福島県	54,083	岩手県	215

(資料：令和6年漁業・養殖業生産統計、令和5年漁港港勢の概要)

8 農家・漁家率（農家、漁家共に年々減少）

- (1) 県総世帯数及び総人口に占める農家率は、都市化に伴う世帯数・人口の増加と、農家数・農家人口の減少によって年々低下している。
- (2) 平成12年に2,173千戸だった県の総世帯数は、令和7年には2,954千戸と781千戸あまり増加した。

これに対し、平成12年に92千戸だった農家数は、令和7年には、38千戸と54千戸あまり減少し、4.2%だった農家率は、1.3%まで減少した。

また、平成12年に4千戸だった漁家数は、令和5年には1千戸と3千戸あまり減少し、漁家率も0.2%から0.03%と減少した。

千葉県の農家・漁家率

(単位：千戸・千人・%)

区分	平成12年	17年	20年	22年	25年	27年	30年	令和2年	5年	7年
総世帯数	2,173	2,325	2,454	2,516	2,573	2,609	2,726	2,774	2,869	2,954
農家数	92	82	—	74	—	63	—	51	—	38
農家率	4.2	3.5	—	2.9	—	2.4	—	1.8	—	1.3
漁家数	4	4	3	—	2	—	2	—	1	—
漁家率	0.2	0.2	0.1	—	0.1	—	0.1	—	0.03	—

—：未公表のもの

(資料：千葉県毎月常住人口調査、農林業センサス、漁業センサス、千葉県農林水産統計年報)

(注) 総世帯数は千葉県毎月常住人口調査の10月1日時点の数値。

漁家数は漁業センサス及び千葉県農林水産統計年報の個人経営体数

9 食料自給率（カロリーベースは25%、生産額ベースは51%）

- (1) 千葉県の令和5年度のカロリーベースの食料自給率（概算値）は25%で、全国第35位である。
- (2) 千葉県の食料自給率が低い理由としては、熱量が低い野菜等の生産が多いこと、人口が多いことがあげられる。

令和5年度都道府県の食料自給率及び全国順位(概算値)

全国順位	都道府県	食料自給率		〈参考〉人口
		カロリーベース	(生産額ベース)	
	全 国	38%	(61%)	124,352 千人
1位	北海道	213%	(4位) (204%)	5,092 千人
2位	秋 田 県	202%	(10位) (137%)	914 千人
3位	山 形 県	148%	(6位) (167%)	1,026 千人
8位	鹿 児 島 県	81%	(2位) (261%)	1,549 千人
13位	茨 城 県	69%	(15位) (111%)	2,825 千人
17位	熊 本 県	62%	(8位) (154%)	1,709 千人
35位	千 葉 県	25%	(31位) (51%)	6,257 千人
45位	神 奈 川 県	2%	(45位) (11%)	9,229 千人
46位	大 阪 府	1%	(46位) (6%)	8,763 千人
47位	東 京 都	0%	(47位) (2%)	14,086 千人

カロリーベース

都道府県別食料自給率 (%) =

$$\frac{1 \text{ 人} \cdot 1 \text{ 日あたりの各都道府県産熱量}}{\text{全国の1人} \cdot 1 \text{ 日あたり供給熱量 (2,197 kcal)}} \times 100$$

純食料100gあたりの熱量

米(342.0 kcal)・いも類(71.5 kcal)・
野菜(27.4 kcal)・果実(74.2 kcal)・
肉類(193.2 kcal)

(令和5年度食料需給表(確定値))

(資料：令和5年度 都道府県別食料自給率(概算)、総務省「人口推計」(令和5年10月1日現在))

新たな「千葉県農林水産業振興計画」の策定について

本県の農林水産業は、人口減少や物価高騰、地球温暖化の進行などにより厳しい環境に置かれている一方、成田空港の拡張や道路網の整備進展などにより、そのポテンシャルは更に高まることが期待されています。

これらの状況を踏まえ、県では、令和8年度から令和11年度までの4年間を計画期間とする「千葉県農林水産業振興計画」を令和8年6月に策定しました。本計画では、「稼げる農林水産業の実現と農山漁村の活性化」を基本目標に掲げ、本県農林水産業における10年後の目指す姿を示すとともに、それに向けた具体的な取組を定めています。また、「稼げる農林水産業の実現」を示す指標として、農業及び漁業経営体当たりの所得目標を新たに設定しました。

詳しい計画の内容は、本県のウェブサイト上で公開していますので、下部に掲載した二次元コードからご覧ください。



千葉県農林水産業振興計画掲載ページ
https://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/keikaku/nourinsuisan/s_hinkoukeikaku/r8.html



新たな「千葉県農林水産業振興計画」の数値目標